

# 稲作情報 No.1

## 大麦越冬後生育・水稻育苗

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成:福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

昨年の12月は降雨が続き、湿害や日射不足が要因とみられる葉色が低下しました。  
2月に入ってから、県内全域で積雪が増加し、嶺北平坦部では3月上旬まで圃場に雪が残りました。  
雪解後は、肥料も溶出し、生育は平年並みとなっていますが、長期の積雪により、**出穂期は平年よりも遅れる見込み**です。

### [大麦]

- ・12月の降雨および長期の積雪により、圃場は湿潤状態になっています。
- ・圃場内の排水溝を確認し、**崩れている溝があれば手直し**をしましょう。
- ・ファイバースノウでの生育過剰な圃場や、はねうまもちでは、今後追肥が必要になります。**追肥の準備を進めましょう**
- ・圃場内にカラスノエンドウの発生が確認された場合は、早めに手取り等を実施しましょう。

### [水稻]

- ・浸種時の**気温が低いと出芽揃いが悪く**なります。
- ・出芽・発芽が揃わないときは、浸種日数の延長、ハトムネ催芽機の使用、育苗器の時間延長などを検討しましょう。



降雨等の影響で圃場内に滞水が発生



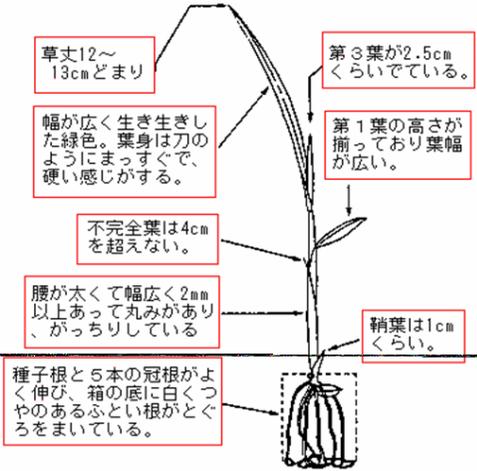
手直しが必要な排水溝  
(11月時点の写真)

### 【大麦への追肥基準】

品種	追肥時期	追肥の判断	追肥量
ファイバースノウ	茎立期後 (3月下旬~4月初旬の見込み)	生育が過剰 (茎数600本/m <sup>2</sup> 超) な場合、実施	窒素で 2kg/10a
はねうまもち	出穂期頃 (4月中旬以降の見込み)	原則、実施	窒素で 3kg/10a

※追肥の判断に迷った場合は、  
県/JA等の営農指導機関にご相談ください

# 水稻育苗

作業	作業の注意点																
浸種～催芽	<p><b>【種子消毒】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県農作物病害虫防除指針を参考に薬剤を選定する。</li> </ul> <p><b>【浸種】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤の効果を高めるため、<u>浸種開始後3日間は水を換えない</u>。</li> <li>・浸種の水温は10～15℃とし、<u>10℃未満にしない</u>。</li> <li>・浸種の終盤に籾を観察し、吸水ムラがないか確認する。</li> </ul> <p><b>【催芽】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・催芽温度は30℃とし、鳩胸状態に揃える。</li> <li>・芽や根を伸ばし過ぎると、播種時に種子が引っ掛かり均等に播種できない。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1529 204 1939 329"> <thead> <tr> <th>水温(°C)</th> <th>浸種日数の目安</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10日</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7～8日</td> </tr> </tbody> </table>	水温(°C)	浸種日数の目安	10	10日	15	7～8日										
水温(°C)	浸種日数の目安																
10	10日																
15	7～8日																
播種～出芽	<p><b>【施肥量】</b> 床土の施肥窒素量は5月中旬以降に移植するコシヒカリで1.0 g/箱、その他品種で1.5 g/箱とする。</p> <p><b>【播種】</b> 播種量はコシヒカリで一箱当たり130 g、その他品種で150 gとする。</p> <p><b>【出芽】</b> 出芽温度は30℃、出芽期間は2～3日で、芽を伸ばしすぎない。</p>																
緑化	<p><b>【緑化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出芽苗を育苗ハウスに設置後、急な強光による白化を防ぐため被覆する。</li> <li>・<u>床土表面の乾燥程度を確認</u>し、乾いたら少量を灌水する。</li> <li>・苗が黄色～黄緑色になったら被覆資材を外す。</li> </ul>																
硬化、馴化	<p><b>【温度管理】</b></p> <table border="1" data-bbox="341 892 1502 1078"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化</td> <td>20～25℃</td> <td>15～20℃</td> <td>10℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>硬化</td> <td>15～20℃</td> <td>10～15℃</td> <td>5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>馴化</td> <td colspan="3">移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5℃以下の低温が予想される時は、ストーブなどで加温する。</li> <li>・夜間に被覆資材をかけたときは、翌朝が低温でないなら忘れずに外す。</li> <li>・育苗ハウス内の生育差が大きい場合は、育苗箱の位置を替える。</li> <li>・育苗箱の底面と床面に隙間があると生育差が生じるため、均平にしておく。</li> </ul> <p><b>【換気】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウス内の気温が25℃以上にならないよう換気する。</li> <li>・最低気温が10℃以下や強風時以外は、夜間もハウスの側面の部分を開放する。</li> </ul>  <p>The diagram shows a rice seedling with the following labels:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草丈12～13cmどまり (Plant height 12-13cm)</li> <li>第3葉が2.5cmくらいでいる。 (3rd leaf is about 2.5cm)</li> <li>第1葉の高さが揃っており葉幅が広い。 (1st leaf height is uniform and leaf width is wide)</li> <li>不完全葉は4cmを超えない。 (Incomplete leaf does not exceed 4cm)</li> <li>腰が太くて幅広く2mm以上あって丸みがあり、がっちりしている (Thick waist, wide, 2mm or more, rounded, and sturdy)</li> <li>精葉は1cmくらい。 (Mature leaf is about 1cm)</li> <li>種子根と5本の冠根がよく伸び、箱の底に白くつやのあるふとい根がとぐろをまいている。 (Seed roots and 5 crown roots grow well, white roots at the bottom of the box are thick and curly)</li> </ul>	時期	昼間	夜間	備考	緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない	硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない	馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない		
時期	昼間	夜間	備考														
緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない														
硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない														
馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない																

作業	作業の注意点											
硬化、馴化	<p><b>【灌水】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝、葉先に露があるときは灌水しない。露がないときや、育苗箱の縁の土が白く乾いているときは灌水する。</li> <li>灌水は晴れた日の午前中に行い1回でたっぷりやる。午後3時以降はなるべく灌水しない。</li> <li>過灌水は発根が悪くなる。</li> <li>夜間の気温が高く床土の水分が高くと、徒長や病気の原因となる。</li> <li>晴天が続く日は、朝昼2回灌水する。灌水量の目安は1箱あたり500ml程度である。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="364 344 1723 508"> <thead> <tr> <th>苗の葉齢</th> <th>晴天の日</th> <th>曇雨天の日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.0～1.3葉</td> <td>朝1回（高温時は床土が乾いたら少量灌水）</td> <td>行わない</td> </tr> <tr> <td>1.3葉～</td> <td>朝、昼 2回</td> <td>朝1回（天候や状態によって行わない）</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【馴化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移植3日前頃からハウスの横面を大きく開けて、苗を外気にならす。ただし、霜が降りる日は行わない。</li> </ul> <p><b>【移植前の薬剤育苗箱処理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育苗後のハウスで、作物を栽培するときは、箱剤の残留農薬に注意する。</li> </ul>			苗の葉齢	晴天の日	曇雨天の日	1.0～1.3葉	朝1回（高温時は床土が乾いたら少量灌水）	行わない	1.3葉～	朝、昼 2回	朝1回（天候や状態によって行わない）
苗の葉齢	晴天の日	曇雨天の日										
1.0～1.3葉	朝1回（高温時は床土が乾いたら少量灌水）	行わない										
1.3葉～	朝、昼 2回	朝1回（天候や状態によって行わない）										



## 気象予報

1か月予報（2025年3月20日発表）の解説 新潟地方気象台

向こう1か月の天候の見通し  
北陸地方（3/22～4/21）

予報のポイント

- 暖かい空気が流れ込みやすい時期があるため、向こう1か月の気温は平年並か高く、特に、期間のはじめはかなり高くなる見込みです。

